

2022年度 ニチイキッズ武蔵野やはた保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年1月10日（水）～3月22日（水）
	実施方法	昨年に引き続き、全職員に自己評価と課題表を実施。
保育施設の評価	評価日	2023年3月24日（金）
	実施方法	各会議などで課題を出し職場全体で共有、保育施設の課題を明確化。改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ　おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもの興味、関心など一人ひとりのやりたい事を受け止め、寄り添いながら子ども達が夢中になっている時に発する言葉を聞く事を重視した。 さらに園内研修で深め、振り返りを行った。
子どもの発達援助	一人ひとりの子どもの年齢的な発達に則した計画を立案すると共に、計画に捉われずに柔軟な保育実践ができるよう、計画に対して、やってどうだったかの振り返りを丁寧に行うことで発達援助を行った。
保護者に対する支援	送迎の際に、その日の活動と子どもの様子やできる様になった事などを丁寧にお伝えした。クラス内の参観と保護者懇談会が都度できなかったので、今後実施していきたい。
保育を支える組織的基盤	それぞれのクラスでの会議の充実を図り、外部研修や園内研修、各種会議での内容充実で個人のスキルアップが図れた。 会議の充実と個人のスキルアップが図れた事で、保育の計画と見通しが向上した。

総評	
<p>保育理念と武蔵野市の目指している「主体的な保育」について園内研修を行った。 「自分から動き、考えて活動できる子ども」「自分の遊びを選べる主体的な保育」がニチイの保育理念・保育方針と結びついた事で、クラス内の玩具などを含めた保育環境を考え、その年齢に見合ったものであるか？その玩具の提供によって培われていくものは何か？なども話し合われた。保育室内の玩具を整えていく中で、手先を使った玩具の準備や手作り玩具の作成をした。</p> <p>また、厨房の職員が食育活動に意欲的で、どのクラスも多く行うことができた。</p> <p>次年度に向けて、更に主体的な保育の充実とニチイの取り組みであるSTEAM教育の浸透を図ると共に年齢に合った適切な保育環境を整えていきたい。</p> <p>引き続き、登降園時の保護者とのコミュニケーションを大切に考え、信頼関係の充実も図り深めていきながら、保育参観、懇談会の開催も行っていきたい。</p>	